

金融情報システム向け セキュア情報活用ソリューション

菊竹秀夫* 虎渡昌史**
荻野義一* 五月女健治**
松岡恭正**

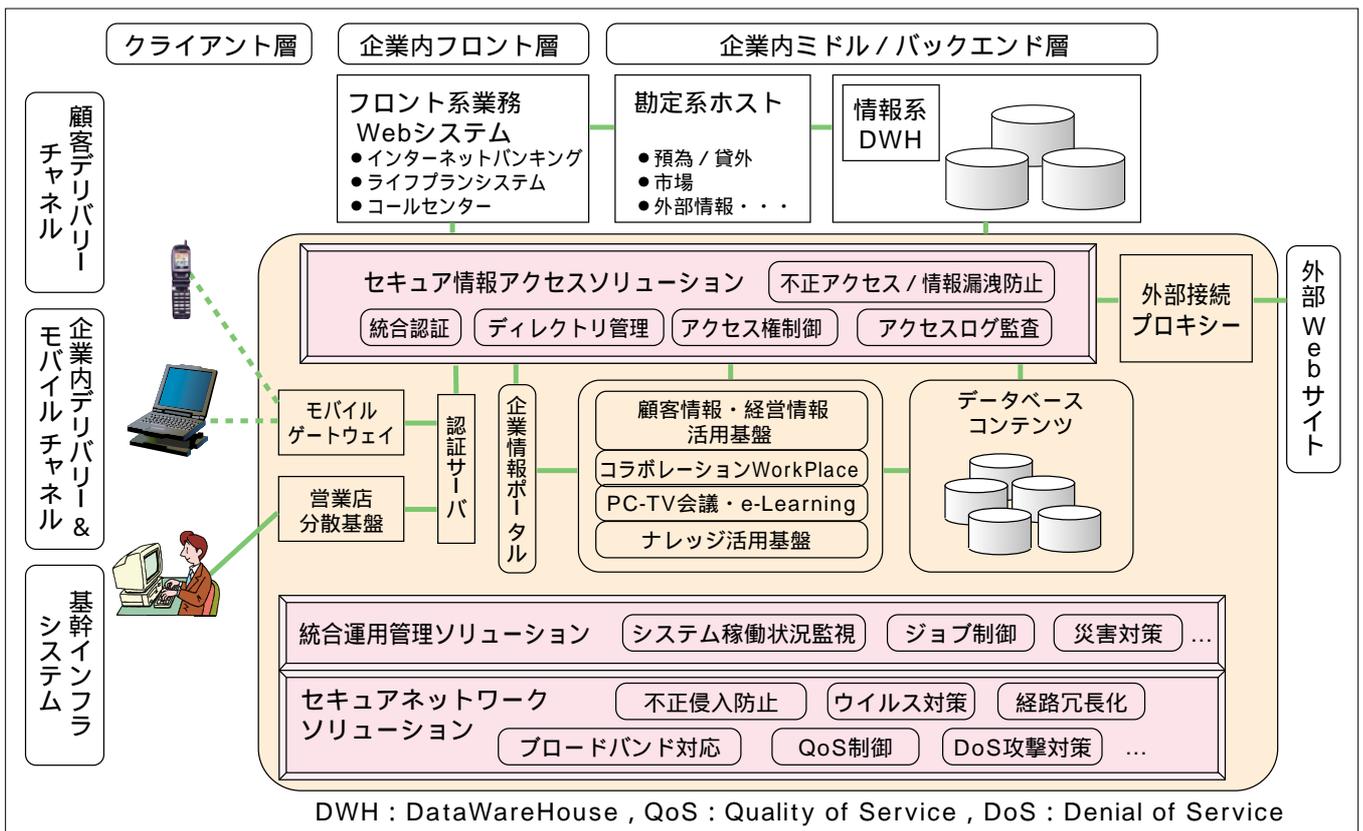
要 旨

経済状況が一層の厳しさを増す中、金融機関の各社は、eCRM(Customer Relationship Management)の活用により新商品の開発やワンツーワンマーケティング推進など、お客様の個性に密着したサービス拡充により収益改善を図るとともに、喫緊の課題として、企業の存亡をかけた企業吸収・合併、支店・営業所の統廃合など、積極的なBPR (Business Process Reengineering)を速やかに推進し企業体質の強化を図る必要に迫られている。

一方、ブロードバンド通信網やモバイル機器の急激な普及により、広域にわたる大量の情報伝達・共有が可能となり、オフィス/外出先/家庭を問わず、従業員、取引関係者、顧客がタイムリーに情報交換できる環境が整いつつある。情報活用の利便性は飛躍的に高まり、この活用が今後の企業経営の強力な武器として期待されている。

しかし、利便性の向上は、ともすると情報漏洩(ろうえい)や不正アクセスなどの問題を生む危険性がある。企業にとって、情報システムの重要性が高まるにつれ、従来に増して、更に高度な安全性・信頼性が求められている。

三菱電機インフォメーションシステムズ(株) (MDIS)は、このような背景を踏まえ、利用資格を持つ人のみが“いつでも、どこでも、容易に、安全に、確実に”利用できるシステムの基盤となる“セキュア情報活用ソリューション”の整備を進めており、ブロードバンド時代に対応した“セキュアネットワークソリューション”、安全で効率的なシステム運用を可能とする“統合運用管理ソリューション”、シングルサインオン認証を可能とし企業情報ポータル構築に不可欠となる“セキュア情報アクセスソリューション”などを提供する。



金融情報システム向けセキュア情報活用ソリューション

金融情報システム向けセキュア情報活用ソリューションは、高度な安全性・信頼性を要求される金融機関向け情報システムにおいて、システム内に蓄積された情報を利用資格を持つ人のみが、“いつでも、どこでも、容易に、安全に、確実に”活用できる情報システムを構築するために用意されるものである。